

ネギの黒腐菌核病

ネギの黒腐菌核病 お勧め防除体系

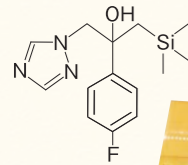
殺菌剤 モンガリット[®]粒剤

- 有効成分：シメコナゾール…1.5%
- 人畜毒性：普通物※
- 農林水産省登録 第20979号

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。



ステロール生合成におけるC14位の脱メチル化酵素を阻害(細胞膜のステロール生合成阻害)、浸透移行性が優れており、幅広い病原菌の菌糸伸長を強く抑えます。



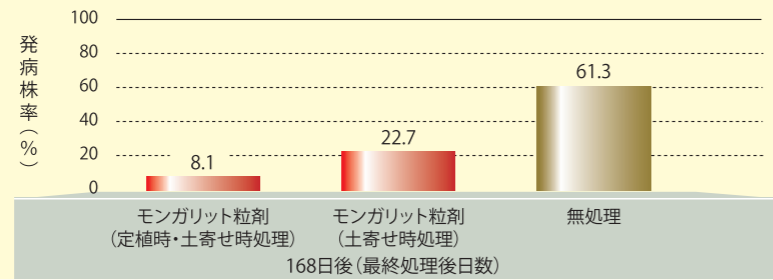
■適用病害と使用方法(ねぎのみ抜粋)

2017年10月現在の登録内容

作物名	適用病害名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シメコナゾールを含む農業の総使用回数
ねぎ	黒腐菌核病	6kg/10a	生育期 但し、収穫14日前まで	3回以内	株元散布	3回以内 (は種時は1回以内)
	小菌核腐敗病					
	白絹病	4~6kg/10a	土寄せ時 但し、収穫14日前まで	1回	土壌表面散布	
黒穂病		は種時				

■ネギ黒腐菌核病の試験成績

2010年 群馬県農業技術センター



- 品種：羽緑一本太 ●発生状況：多発生(接種) ●区制・面積：1区9m²(3×3m)、4連制 ●播種：4月13日
- 処理日(定植時・土寄せ時処理)：6月15日(定植時(6kg/10a))、9月21日(土寄せ時(6kg/10a))
- 処理日(土寄せ時処理)：9月21日(6kg/10a)、11月5日(6kg/10a)
- 調査日：2011年3月8日(収穫時) ●薬害：なし

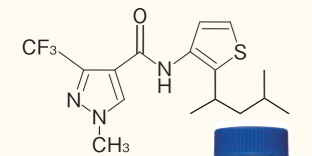
殺菌剤 アフェット[®]フロアブル

- 有効成分：ペンチオピラド…20.0%
- 人畜毒性：普通物※
- 農林水産省登録 第22209号

※「毒物および劇物取締法」(厚生労働省)に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。



ミトコンドリア電子伝達系複合体IIのコハク酸脱水素酵素を阻害し(呼吸阻害)、幅広い病原菌の胞子発芽、胞子形成を強く抑えます。また、発芽管伸長、菌糸侵入も抑えます。



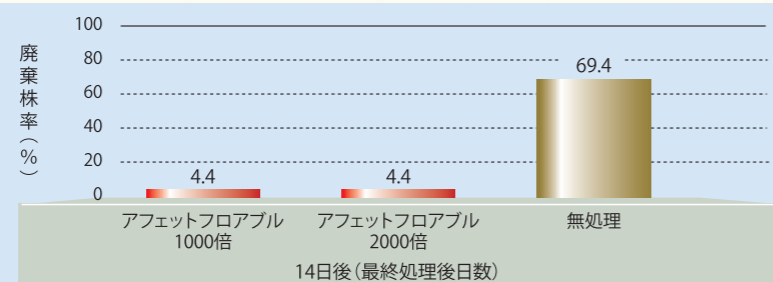
■適用病害と使用方法(ねぎのみ抜粋)

2017年10月現在の登録内容

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンチオピラドを含む農業の総使用回数
ねぎ	黒腐菌核病	1000~2000倍	1ℓ/m ²	生育期 但し、収穫14日前まで	2回以内	株元灌注	4回以内 (株元灌注は2回以内、散布は2回以内)
	白絹病						
	白さび病	2000倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	散布		
	黒葉枯病						
小菌核腐敗病							

■ネギ黒腐菌核病の試験成績

2013年 静岡県農林技術研究所



- 品種：龍翔 ●発生状況：甚発生 ●区制・面積：1区15m²、3反復 ●定植日：7月18日
- 土寄せ日：10月10日、11月11日、12月12日(計3回) ●処理日：10月10日、11月11日、12月12日(計3回)*
- 処理方法：土寄せ直前に薬液を1ℓ/m²の割合で株元灌注した。
- 調査日：12月26日 *：適用範囲は灌注2回までですが、本試験では効果の確認のため適用回数以上の処理になっております。

相乗効果



アフェット[®]フロアブル

【病原菌名】 Sclerotium cepivorum

【発生時期】 晩秋期~早春期(11月頃~5月頃)

【伝染源】 被害残渣、菌核

【伝染様式】 土壌 【発生部位】 根、葉鞘

【発病適温】 10~20℃(25℃以上では発病し難い)

【湿度条件】 多湿

【他作物の被害】 ラッキョウ、ニンニク、ニラおよびタマネギ

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届くところには置かないでください。 ●防除日誌を記載しましょう。

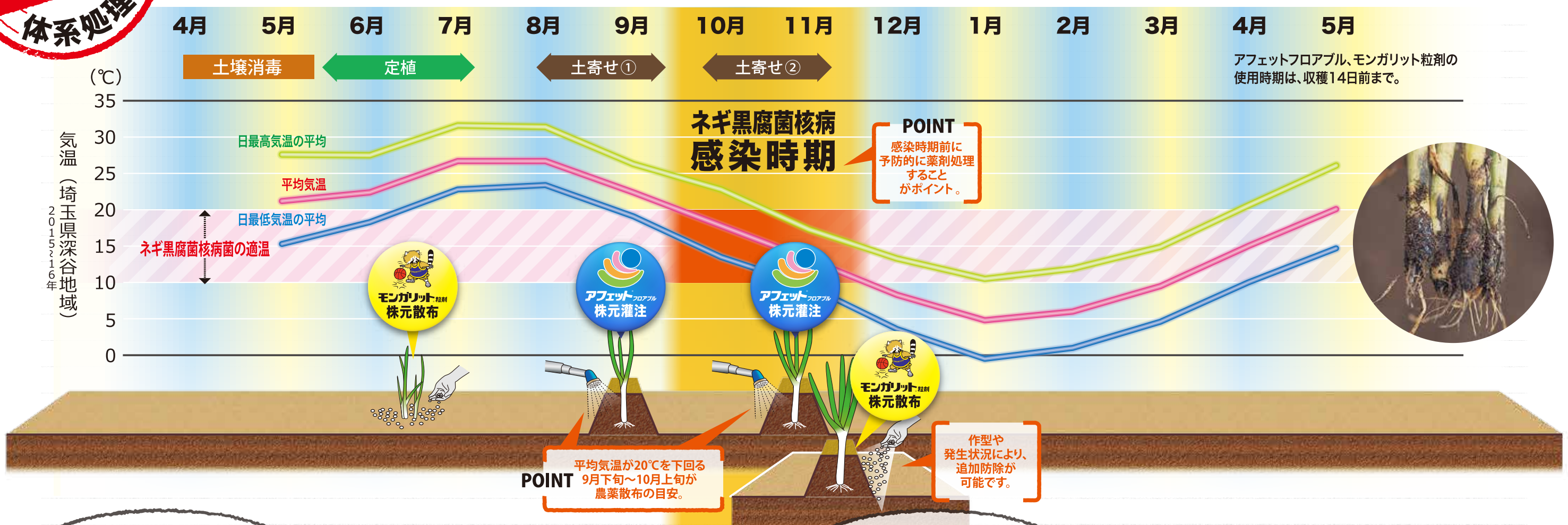
*本製品は農業用殺菌剤であり、製品ラベルの記載以外には使用しないでください。

*本印刷物は2017年10月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例に当てはまるものではありません。

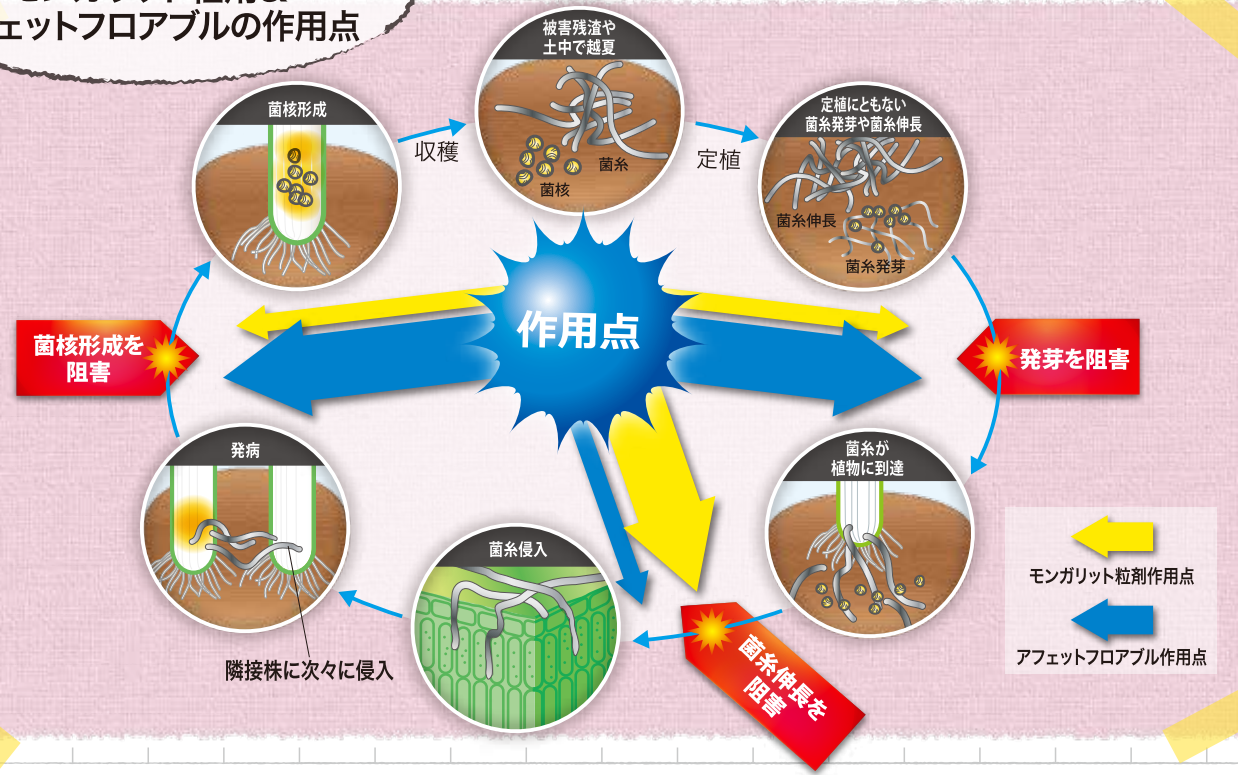
おすすめ!
体系処理

モンガリット®粒剤 & アフェット®フロアブルの体系処理のご提案 (栽培モデル▶根深ネギ、秋冬どり)

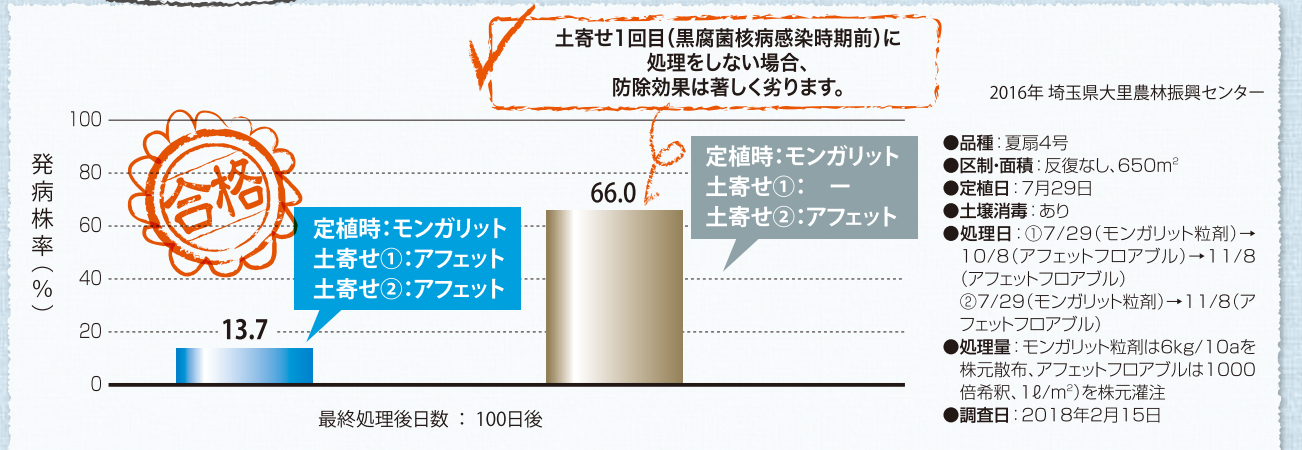
最適な薬剤防除を実現するために、栽培地域の気温を把握しておきましょう。



ネギ黒腐菌核病菌の生活環とモンガリット粒剤&アフェットフロアブルの作用点



黒腐菌核病多発時の体系処理試験



黒腐菌核病の発生を効果的に抑えるには、栽培地域・作型に適した体系処理が必要です。気温を確認し、感染時期を把握した上で、感染前の予防として薬剤を処理してください。